

令和7年度学校経営方針(案)

～共に学び共に育つ楽しさを実感できる稚内南中学校～

【関係法令等】

- ・憲法(教育理念)
- ・教育基本法
- ・学校教育法
- ・学習指導要領
- ・宗谷管内教育推進重点
- ・稚内市教育大綱

【稚内南中学校 校訓】

「正義」・「博愛」・「健康」

この校訓は昭和34年に制定され、正義は知を、博愛は情を、健康は意を含めた体を表しており、現在の学習指導要領の「未来社会を切り拓く力」「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」のバランスのとれた「生きる力」の育成に他ならない。南中はこの知情意体のバランスのとれた育成を目指している。

【学校教育目標】

「未来を切り拓く心豊かな生徒の育成」

【目指す生徒像】(南地区共通)

ここでの「未来を切り拓く」とは …

- ・夢を抱き、何事にも粘り強く挑戦する生徒
- ・自ら学び、自ら考え、創造する生徒
- ・稚内に誇りを持ち、ふるさとを愛する生徒

ここでの「心豊かな」とは …

- ・正しく判断し、責任を持って行動する生徒
- ・自他ともに認め合い、お互いを高め合う生徒
- ・心身ともに健康でたくましく生き抜く生徒

◆生徒指導4機能とは

- ・自己存在感の感受
- ・共感的な人間関係の育成
- ・自己決定の場の提供
- ・安全、安心な風土の醸成

【学校運営の重点】

生徒像に近づけるために学校・教職員の目指す姿

1. チームとして育ち機能する学校

部長を中心に「報告・連絡・相談・確認」と「方針・具体策・連携・相互支援」を向上させる職員集団

2. 生徒の自己肯定感が育つ学校

生徒指導の4機能を意識した積極的な生徒指導と心の居場所がある学級・学年経営、部活運営

3. 将来のビジョンを描き努力できる魅力ある学校

教師としての人間性や授業力を磨き、生徒主体の授業づくりの深化に努め、学力を身につけさせる

4. 豊かな感性を磨き信頼される学校

生徒の感性を磨き、そのアイデアが実現され、実践の成果を保護者や地域社会に発信し信頼を得る

5. 地域・社会に開かれた学校

P T A活動・子育て運動を改善充実させ、学校・家庭・地域の役割を果たし合える活動の充実

今年度も学校・家庭・地域の相互の役割を發揮し、生徒の人格形成と学力形成を図ることをねらいに、以上の5つを学校運営の重点とする。この5つの重点を達成するために、一人一人の教職員が「学校は組織体である」ことを共通に押さえ合い学年部会を基盤に日常の教育活動を推進し、分掌部会においては学校運営改善のために率先して努力することが求められる。教育活動は**人格性、科学性、総合性、歴史性**という視点を総合した実践により成果を上げることができる。全ての教職員がこうした見地に立ち、具体的実践にあたっては学校・家庭・地域の連携、小中の一貫を基盤にした信頼される学校づくりをめざし、「組織的」に教育活動に取り組むことが必要である。教職員の使命は、稚内南中学校のすべての生徒に『確かな学力、豊かな心、体力・健康を育み、「生きる力」』を培うことである。そのためには教師一人ひとりが自己の実践的指導力を高め、地域・保護者・生徒の願いに応え、教育の営みの本質(人格の完成)を共通基盤に、法令や学習指導要領の示すところに従い公教育としての学校教育を推進することを基本とする。本校の歴史と伝統を継承しつつ生徒の実態をもとに、社会に開かれた特色ある教育課程づくりに努めるとともに、人間尊重の風をみなぎらせ全教職員の組織的参加による経営の推進に努めることが生徒・保護者・地域の願いに応えることである。

人格性とは、教えるものと学ぶものとの関係性をさし、**科学性**とは、子どもの発達段階に即した科学的認識をさし、**総合性**とは、教育の長い年月にわたる総合的結果と教員の誠実な努力と同時に教職員集団の力量が総合的に結実するという成果をさし、**歴史性**とは、人類の文化的遺産を継承し、平和な未来を切り拓く使命感をさしています。

【子どもの未来を保障する「4つの柱」と「12の具体策」】

柱1 学力保障

①授業改善8つの視点の焦点化と具体化による授業改善と授業力向上

(1. Teacher から Facilitator へ 2. 発問から子どもの疑問重視へ 3. 「結果」重視から「過程」重視へ 4. 同化することから多様性重視へ 5. 基準の達成からどの子も伸ばすへ 6. 教えやすさから学びやすさへ 7. チョーク&トークからリアル&ビジュアルへ 8. 教師主体の板書から思考過程の可視化へ)

②論理的・数学的思考力の向上を全教育活動でアプローチ

③ICTやIoT機器を活用した個別最適な学びの推進と協同的学びの推進

柱2 豊かな心・関わる力

④生徒同士が認め合い、心の居場所のある学級経営

⑤生徒の教育的ニーズや特別な支援を要する生徒への持続可能な教育の充実

⑥生徒会による自己決定を促す自治的な活動の充実と地域活動やボランティア活動への積極的な参加

柱3 健全な身体・やり抜く心

⑦自分の良さや可能性を知る計画的な全教育活動の設定

⑧食育指導・健康・安全教育の推進

⑨家庭における生活・学習リズム等、自己調整能力を培う取組(レコーディングノート等)の推進

柱4 次世代につながる思考・スキル

⑩SDGs教育の推進

⑪稚内学を含む全教育活動でのキャリア教育、ふるさと教育の推進

⑫多様な他者との共同を育むコミュニケーション能力(英語力を含む)の育成

【目指す教師像】

- ・授業改善の努力を不断に追求する教師
- ・子ども理解を深く追求する教師
- ・指導個別最適な学びを追求する教師
- ・家庭・地域の連携・共同を追求する教師

【学校評価による検証】

令和7年度の生徒評価達成目標数値

☐ 学校が楽しい「100 %」

☐ 信頼できる先生がいる「95 %」

☐ 授業がよくわかる「100 %」

☐ 自分には良いところがある「100 %」

☐ 希望や夢を持っている「100 %」

【部活動】

- ・教育活動で培った資質能力が生きる部活動運営と心技体の向上
- ・地域移行に向けた対応、保護者・生徒との方向性の確認と対話

【PTA】

- ・保護者、子ども、教職員らが話し合って教育を創造していく「参加と共同の学校」をめざす
- ・保護者と教職員が協力し、未来を切り拓く心豊かな南中生を育てる
- ・学校、家庭、地域の役割の発揮と連携、小中PTAの連携を進め南地区の子育て運動を活性化

令和7年度 稚内南中学校グランドデザイン

【関係法令等】

- ・憲法(教育理念)
- ・教育基本法
- ・学校教育法
- ・学習指導要領
- ・宗谷管内教育推進重点
- ・稚内市教育大綱

【校訓】

正義・博愛・健康

【目指す南地区の子ども像】

- ・夢を抱き、何事にも粘り強く挑戦する子
- ・自ら学び、自ら考え、創造する子
- ・正しく判断し、責任を持って行動する子
- ・自他共に認め合い、お互いを高め合う子
- ・心身共に健康でたくましく生き抜く子
- ・稚内に誇りを持ち、ふるさとを愛する子

【学校教育目標】

未来を切り拓く心豊かな生徒の育成

【学校研究主題】

「主体的・対話的で深い学びの創造」

～〈子ども主体の授業を実現するための8つの視点〉を踏まえた授業改善を通して～

- 1.ティーチーからファシリテーターへ
- 2.発問から子どもの疑問重視へ
- 3.結果重視から過程重視へ
- 4.同化することから多様性の重視へ

- 5.基準の達成からどの子も伸ばすへ
- 6.教えやすさから学びやすさへ
- 7.チョーク&トークからリアル&ビジュアルへ
- 8.教師主体の板書から思考過程の可視化へ



南教研を中心とした
「小中一貫」の実践

【子どもの未来を保障する重点課題（生きるベースとなる資質・能力）】

正義(知)

柱1 学力保障

- ①授業改善 8つの視点による授業改革と授業力向上
- ②論理的・数学的思考力の向上を全教育活動でアプローチ
- ③ICTやIoT機器を活用した個別最適な学びの推進と協働的な学びの推進

博愛(情)

柱2 豊かな心 関わる力

- ④生徒同士が認め合い、心の居場所のある学級経営
- ⑤生徒の教育的ニーズや特別な支援を要する生徒への持続可能な教育の充実
- ⑥生徒会による自己決定を促す自治的な活動の充実と地域活動やボランティア活動への積極的な参加

健康(体)

柱3 健全な身体 やり抜く心

- ⑦自分の良さや可能性を知る計画的な全教育活動の設定
- ⑧食育指導・健康・安全教育の推進
- ⑨家庭における生活・学習リズム等、自己調整能力を培う取組(レコーディングノート等)の推進

未来保障

柱4 次世代型スキル・思考

- ⑩SDGs教育の推進
- ⑪稚内学を含む全教育活動でのキャリア教育、ふるさと教育の推進
- ⑫多様な他者との共同を育むコミュニケーション能力(英語力を含む)の育成

□学校が楽しい 100%

□希望や夢を持っている 100%

□信頼できる先生がいる 95%

□自分には良いところがある 100%

□授業がよくわかる 100%